

多久市立学校次期校務系ネットワーク構築業務 仕様書

1. 件名

多久市校務系ネットワーク構築事業（以下、「本業務」という）

2. 履行期間

構築期間：契約締結の翌日から令和8年11月30日まで

運用保守期間：令和8年12月1日～令和9年3月31日

3. 目的

多久市においては、平成29年4月より3校小中一貫校を義務教育学校に移行し、義務教育9年間の一貫した指導をさらに推進している。また学校における情報化については、平成28年度に策定した「多久市学校教育情報化推進計画」に基づき、学校教育情報化事業を実施している。平成29年度には、教師用校務端末及び電子黒板機器を更新、またタブレット端末、そして統合型校務支援システムを導入し、学習環境の質の向上や校務負担の軽減を図り、さらなる学力の向上、そして多久市が目指す「21世紀型スキル」を持った「自己肯定に満ちた子ども」の育成を図ってきた。近年は校務系と学習系のネットワークの完全な分離など、児童生徒の成績等の重要な個人情報扱う組織として、高度なセキュリティ体制の構築が求められている。

本仕様書は、統合型校務支援システムの調達及びクラウド基盤の構築とシステムを使用するソフトウェア、サーバー、機器等の設定仕様を規定するものである。

4. 対象

実施場所及び対象者（ユーザー）

項番	施設名	住所	ユーザー数		
			職員	児童生徒	計
1	東原庁舎中央校	多久市南多久町大字下多久2286番地13	90	495	585
2	東原庁舎西溪校	多久市多久町1784番地1	41	158	199
3	東原庁舎東部校	多久市東多久町大字別府3182番地	44	112	156
4	教育委員会	多久市北多久町大字小侍7-1	14	0	14
合 計			189	765	954

※公示時点の人数であり、変更の可能性があることを留意すること。

5. 整備・調達内容

業務で整備するシステム及び製品は下記の通りとする。製品は全て指定品とする。

各製品の数量は別紙1の通りとする。

項番	内容	数量	概要
1	校務系ファイルストレージ	1式	クラウドストレージ
2	エンドポイントセキュリティ	1式	サイバーリーズン：EDR/MDR Complete
3	多要素認証システム	1個	Yubico：Yubikey
4	クライアント資産管理システム	1式	Sky：SKYSEA Client View M1 Cloud
5	Microsoftライセンス	1式	Microsoft 365 A3

6	校務支援システム	1式	EDUCOM： C4thクラウドプレミア
7	システム構築・設定作業	1式	対象：本業務で導入のシステム・機器
8	運用保守及び運用手順書の作成	1式	対象：本業務で導入のシステム・機器

6. 仕様

(1) 校務系ファイルストレージ (クラウドストレージ)

項番	内容	仕様
1	データ容量	Microsoft365 A3に準ずる
2	ユーザー認証及びアクセス制限	必須
3	フォルダ階層設定	必須
4	バージョン履歴機能(データ復元)	必須
5	削除ファイルの復元機能	必須
6	データ暗号化設定	必須
7	データ流出防止・データ監視機能	必須

(2) エンドポイントセキュリティ

項番	内容	仕様
1	クライアント保護 (EPP、EDR、MDR等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既知及び未知のマルウェア等の検知や遮断ができること。 ・ 随時最新のセキュリティ状態に更新できること。 ・ サイバー脅威の監視(検知後の対応含む)を行うこと。 ・ 既知の攻撃のみならず、未知の攻撃にもリアルタイムに対応すること。 ・ 攻撃が検知された端末に対し、必要に応じて該当プロセスの停止、該当マルウェアの検疫、レジストリの修復を管理コンソールより遠隔操作でおこなえること。また必要に応じて、ネットワークからの端末 隔離も行えること。 ・ SOCサービス (MDR) は、導入するEDR製品に精通し、適切なIR対応が可能なこと。 ・ EDRベンダーが提供するSOCサービスを有すること。 ・ 初動通知はインシデント検知後に30分未満であること。

(4) 多要素認証システム

項番	内容	仕様
1	多要素認証	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が認証行為を何度も繰り返すことなく使用できること。 ・持ち物、記憶、生体の3つの認証要素のうち、2つ以上を組み合わせた認証システムであること。 ・FIDO2認証に適応していること。

(5) クライアント資産管理システム

項番	内容	仕様
1	IT資産管理	<ul style="list-style-type: none"> ・資産情報の収集、ソフトウェア配布や適用ができること。
2	ログ管理	<ul style="list-style-type: none"> ・端末の操作ログ収集及び検索ができること。 ・端末に対して行われた操作、ログオン・ログオフの日時、ファイル操作、Webへのアクセスおよび書き込み・アップロード・ダウンロード、USBメモリなどの記憶媒体を利用した内容、記憶媒体のシリアル情報等をログとして記録できること。
3	デバイス管理	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリやプリンタドライバ等の一斉配信やWindows Update等の一斉管理ができること。 ・利用したUSBデバイスのシリアルナンバー、ベンダーIDを自動で収集し、管理台帳を作成できること。 ・許可したUSBデバイスのみを使用可能としそれ以外の使用を禁止できるような運用が可能であること。
4	PC活用状況分析レポート	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の端末操作時間などをグラフ表示で視覚的に表示して一覧化できること。
5	リモート保守	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の端末に対して、インターネット経由で、リモート操作が行える機能を有すること。

(6) Microsoftライセンス

下記のライセンスを調達すること。

項番	製品名	内容・数量
1	Microsoft365 A3	教職員用 198ライセンス

(7) 校務支援システム

①本業務においては、校務支援システム「EDUCOM : C4thクラウドプレミア」を調達する。

詳細な機能は下記の通りとする。

連絡掲示板、個人連絡、文書連絡、会議室、書庫、予定表、

施設・備品予約、週案・時数管理、学校日誌、教職員名簿、出席簿

いいところみつけ、成績処理、通知表、指導要録、調査書、個人加付

児童生徒名簿、保健室利用、保健日誌、健康診断、保管文書、出勤簿

②現在も同校務支援システム（C4th）を利用していることから、既存校務支援システムから新たに調達する校務支援システムへのデータ移行作業を実施するものとする。なお、移行作業に伴うシステム停止の有無および停止時間等については、別途協議のうえ決定するものとする。

③新校務支援システムの操作研修会を各学校下記項目1回ずつ実施すること。

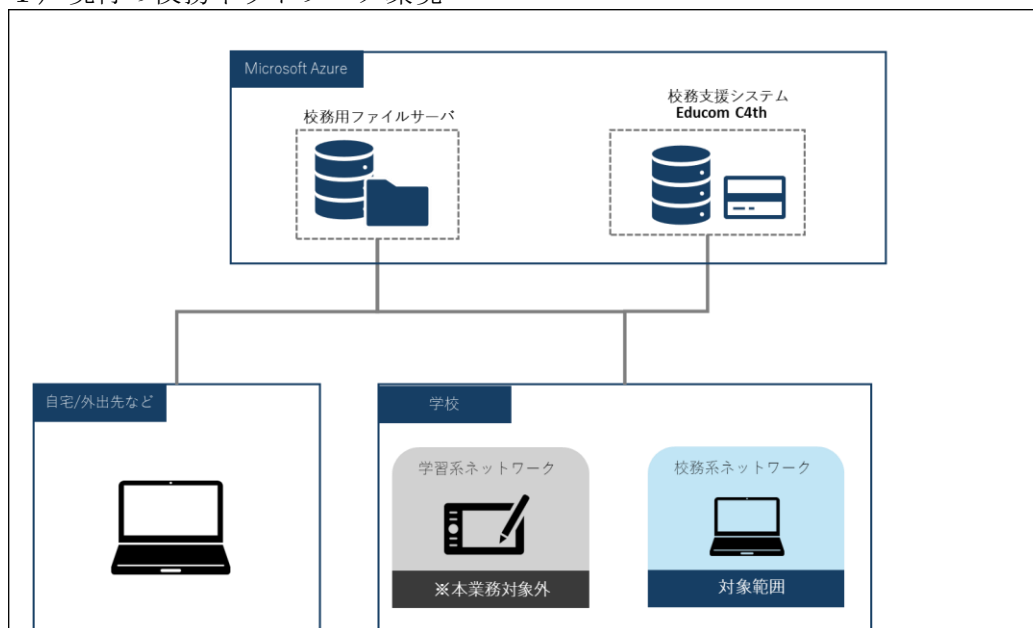
- ・ 管理者向け（基本設定・通知表設定）
- ・ 基本操作研修
- ・ 保健機能研修
- ・ 調査書研修（中学校教員向け）
- ・ 指導要録研修

研修会の詳細については、別途協議して決定すること。

(7) システム構築・設定作業要件

本業務の実施にあたり、下記項目を満たす内容で実施すること。

1) 現行の校務ネットワーク環境



2) 次期校務ネットワーク環境



①本業務で導入するすべてのシステム・既存の校務用端末において、ロケーションフリーで利用できるように構築・設定作業を行うこと。

②既存の校内ネットワーク環境に影響が出ないようにクラウド環境の構築を行うこと。既

存ネットワーク環境の設定変更作業が発生した場合は、多久市が契約しているネットワーク保守業者と連携し、対応すること。その際、有償範囲での設定変更となる場合は、保守業者から見積を取得し、対応すること。

- ③新しく校務データを保存する環境をSharePointに構築すること。利用する際の利用者グループ、アクセス権、ドキュメント構成は受託後協議の上決定すること。
- ④現行のファイルサーバに格納されているデータは、現在Azure上の閉域環境に保管されている。当該データについては、本業務において導入するSharePointへ移行すること。移行に伴い必要となる現行環境の変更作業についても併せて実施すること。また、移行に伴う既存環境の設定変更に係る費用については、本業務に含めるものとする。さらに、各職員が利用している校務用PC内に保存されているデータについても、移行に係るマニュアルの作成や問い合わせ対応等、各種作業の支援を行うこと。
- ⑤データ暗号化に関して、MS365 A3を使用してファイルの暗号化を手動で行うこと。詳細については受託後協議の上決定すること。
- ⑥本業務において導入を予定している校務支援システムについて、Entra ID を利用したSAML SSO 連携による接続設定を行うこと。
- ⑦本業務においては、新規端末の調達を行わず、現在利用中の 校務用端末(富士通・ARROWS Tab Q7311/JE)を対象端末として、本業務で調達する製品及び設定内容に準拠した再設定を実施すること。
再設定に際しては、OSおよびセキュリティ設定、認証基盤 (ID管理・多要素認証等) との連携、端末管理 (MDM/MAM 等) への登録を行い、本業務におけるアクセス制御およびセキュリティポリシーが適用された状態での利用を前提とする。
- ⑧必要に応じて、本市が導入している「i-FILTER@Cloud」及び各学校に設置されているファイアウォールの設定について、学校業務への影響が生じないよう十分に配慮した上で、変更を実施すること。なお、当該対応に係る費用が発生する場合は、本業務にて見込むこと。
- ⑧研修会・説明会の開催及び操作手順マニュアル等作成
 - ア. 既存端末の設定変更後、教職員を対象とした説明会を実施すること。
内容や手法、回数等については、発注者と協議して決定する。
また、説明会等で教職員から受けた質疑等については、発注者と協議の上回答を作成すること。
 - イ. システム管理者 (教育委員会) 対象の研修会及び定期報告会を実施すること。
内容や回数等については協議とするが、対面での実施を原則とする。
※参加者は基本的にはWeb会議等の遠隔からの参加は一切認めないものとする。
ただし、メーカー担当者のスポット参加は遠隔地での参加も特例として可とする。
- ⑨操作手順マニュアル等を含めたドキュメントを作成すること。
操作手順マニュアル等に記載する内容に変更があった場合は、納品後も随時差し替えを行うこと。

(8) 運用保守及び運用手順書の作成

- ①システム納入後、令和9年3月31日までの運用保守を行うこと。
- ②多久市 (又は多久市が指定する保守サポート業者) からの問合せ対応窓口としてのヘルプデスクを設置すること。なお、ヘルプデスクについては、ゼロトラスト環境における教職員からの問合せを受け付けた実績があることを条件とする。
- ③運用保守内容
 - ア. 本事業で構築及び調達等を行った全てのシステム及び機器等に係る業務全般を運用保守業務の範囲とする。また、運用保守業務の実施は原則として多久市が定める休日を除く8時30分から17時30分までとする。
 - イ. システム及び機器等への更新プログラムやアップデート等に係る情報を随時提供するとともに、多久市の求めに応じて技術的助言及び支援等を行うこと。特に脆弱性に係る情報は迅速に共有し、可能な限り早期に適用できるようにすること。
 - ウ. 計画的なシステム等停止が発生する場合は、多久市に事前通知すること。

エ. 情報共有として月に一回定例報告会を実施すること。

(9) 成果物等の納品

①提出書類

受注者は契約締結後、多久市が指定する期日までに下記の書類を提出すること。
数量は、各々紙媒体（製本済）1部、電子データ1部とする。データはPDF形式に加え、
編集可能なデータ形式（Word/Excel/PowerPoint等）も合わせて提出すること。
なお、マニュアルについては、多久市との協議の上、内容等に変更があった場合は随時
差し替えたものを提出すること。

ア. 業務実施計画書

イ. 運用保守体制表及び緊急連絡先

ウ. 設計書

エ. 教職員対象操作手順マニュアル

オ. ソフトウェアライセンス・運用保守サポートについて、運用手順書及び完成図書（パ
ラメータ、不具合時の対応方法など）を作成し、多久市に納品すること。

カ. その他発注者が提出を求めるもの

②その他

契約期間満了後においても、発注者から書類やデータ等の提出を求められた場合は、随時
対応すること。

7. その他

本仕様書に記載のない事項又は疑義を生じた事項については、発注者と受注者が協議のうえ、発
注者の指示に従うものとする。

別紙1 各製品の数量

NO	項目	型名	備考	数量	単位	メーカー
ネットワークセキュリティサービス						
1. Microsoft/アノウェア						
1	NCE Microsoft 365 A3	年契約年払い	全教職員人数198人×1年	198	ライセンス	Microsoft
2. エンドポイントセキュリティ						
1	EDR for Workstation 300 1年	EDR-WS-NU-0003		300	ライセンス	サイバーリズン
2	Endpoint Prevention 300 1年	EP-0003		300	ライセンス	サイバーリズン
3	Product Support 300 1年	PS-STD-0003		300	ライセンス	サイバーリズン
4	MDR Complete 300 1年	MDR-CPL-0003		300	ライセンス	サイバーリズン
5	Deployment 300 1年	DPL-0003		1	式	サイバーリズン
3. 二要素認証						
1	YubiKey 5 NFC	5060408461426.B	全教職員人数198人	198	個	Yubico
4. クラウド運用管理ソフトウェア						
1	SKYSEA Client View M1 Cloud Edition クラウドライセンス(250-999)	198L×1年間		198	ライセンス	Sky
2	SKYSEA Client View M1 Cloud Edition Remote Access Services ライセンス(1-249)	3L×1年間		3	ライセンス	Sky
3	SKYSEA Client View M1 Cloud Edition リモート操作ソフトウェアライセンス	198L×1年間		198	ライセンス	Sky
4	SKYSEA Client View S1/S3/M1 Cloud Edition	教育支援(基本操作)		1	ライセンス	Sky
校務支援システム						
1. 校務支援システム利用料						
1	EDUCOMマネージャ-C4thクラウドプレミア 初期構築費用		多久市様版	1	式	EDUCOM
2	EDUCOMマネージャ-C4thクラウドプレミア 利用料 以下機能詳細記載 連絡掲示板、個人連絡、文書連絡、会議室、書庫、予定表、施設・備品予約、進捗・時数管理、学校日誌、教職員名簿、出席簿 いいとこみつけ、成績管理、通知表、指導要録、調査書、個人カルテ 児童生徒名簿、保健室利用、保健日誌、健康診断、保管文書、出勤簿		利用期間:12ヵ月(義務教育学校3校分) ヘルプデスク対応含む(平日9:00~18:00) クラウドサーバ基盤利用料含む	12	ヶ月	EDUCOM
役割						
1. 校務支援システムSSO連携設定作業						
	SAML SSO連携設計 SAML SSO連携設定		・EntalIDの SAML SSO設定内容を設計 ・連携先毎にSSO連携の設定および動作確認	1	式	
2. 校務データ保存環境設計						
	SharePointファイルサーバ設計 SharePointファイルサーバ設定(義務教育学校3校+市教委) Sharepointへのデータ移行 校務サーバのインターネット接続のためのIAAS変更作業		・SharePointクラウドサイトをファイルサーバとして利用するための利用者グループ、アクセス権、ドキュメント構成の設計作業 ・SharePointクラウドサイトの作成 ・SharePointファイルサーバ利用者グループを作成	1	式	
3. 校務データ暗号化設計						
	Microsoft Purview Information Protection(MPIP) 要件定義・設計 Microsoft Purview Information Protection(MPIP) 有効化 ファイル作成 MPIPポリシー設定 MPIPグループ作成		MPIPの対象、秘密度レベル、MPIPポリシー等を策定 対象:Word,Excel,PowerPoint,SharePoint,OneDrive,Exchange テナントに対して MPIP を有効化する設定作業 秘密度レベルを作成、設定作業 テナントに対して MPIP を有効化する設定作業 MPIPグループ用にメールが有効なセキュリティグループの作成作業	1	式	
4. 校務データ流出防止・データ監視機能設計						
	Endpoint DLP 要件定義・設計 Endpoint DLP 導入		高度な分類のस्क্যানと保護、除外するファイルパス、制限するアプリのリスト、DLPポリシー等について要件定義・設計、上記要件定義した設計を設定	1	式	
5. 二要素認証設計						
	要件定義 Yubikey設定			1	式	
6. エンドポイントセキュリティ設計・設定費用						
	設計作業 エンドポイントセキュリティ設定作業		端末側の作業	1	式	
7. その他設定業務						
1	C4thユーザ登録作業			1	式	
2	端末設定作業		【作業内容】 各ソフトウェアのエージェントインストール等	1	式	
8. 研修会等						
1	校務データ保存環境操作研修会	各校1回	マニュアル作成費用含む	1	式	
2	校務支援システム操作研修会	各校各項目1回ずつ (5項目×3校)	・管理者向け(基本設定・通知表設定) ・基本操作研修 ・保健機能研修 ・調査書研修(中学校教員向け) ・指導要録研修	1	式	
3	Yubikey登録マニュアル作成			1	式	
9. 保守費用						
1	システム運用保守(障害時一次切り分け作業・システム調整など)	4ヶ月		1	式	
2	ヘルプデスク運営費用(運用サポート・問い合わせ対応など)	4ヶ月		1	式	
3	校務環境アガット管理・年次運用(年次更新作業含む)	4ヶ月		1	式	